

財政再建は
大事ですが

私学助成の削減はあんまりです!

命綱を削る授業料助成の削除

～生徒の学ぶ権利が奪われます～

私学の高い学費で家計は火の車

大阪府下の私立高校の初年度納付金(入学金と授業料)は平均で73万円、授業料(年間)は53万円を超えています。勤労者の収入が減り、増税などで、生活を維持することさえたいへんななか、私学の高学費は、家計と生活を圧迫しています。



学費滞納が増え、経済的理由の退学も

貧困と格差のひろがり、「ワーキングプア」が社会問題になっています。リストラ・解雇や倒産、家業廃業など、勤労者の家計収入の減少と生活困難は深刻です。

そんななかで私学では、学費の滞納が増え、学費が払えず退学する生徒も後を絶ちません。

私学の教育・経営をこわします

今以上の私学助成削減は、学費値上げに直結し、教育条件を切り下げます。

また、私学の経営も大きな打撃を受けます。多くの学園の経営はたいへん厳しく、規模の小さな幼稚園や生徒数の減っている小中高校では、経営が立ちゆかなくなります。



私たちの願い

大阪私立高校アンケート(07年7月)より

私学の学費について

「たいへん高い」
「高いと思う」の合計 **81.6%**

府立高校との学費の格差について

「大きすぎる」
「私学を公立並みに」の合計 **72.7%**